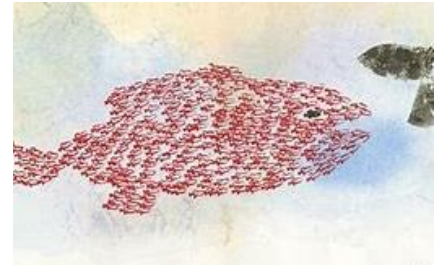


「スイミーって、どんな話？」「こんな話！」（2年国語科）

2年生でお馴染みの物語「スイミー」。

この学習で大切にしたい学びは、「あらすじをまとめる」ことだ。その物語を全部読まなくても、あらすじがわかれば、だいたい、どんな内容なのか理解することができる。だから、物語の内容を人に伝えるときにも、あらすじをまとめることがとても大切であり、おすすめの本を紹介する際にも、あらすじのまとめ方を知っておくと便利である。



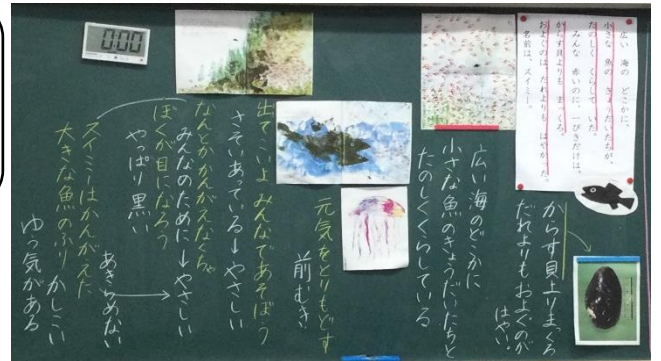
そこで、この学習を通して、「『スイミー』ってどんな話？」と聞かれて、「〇〇な話だよ！」と、あらすじを簡単にまとめて伝えられる姿をめざすことにした。

★「スイミーってどんな魚？」人物しょうかいを考えよう！

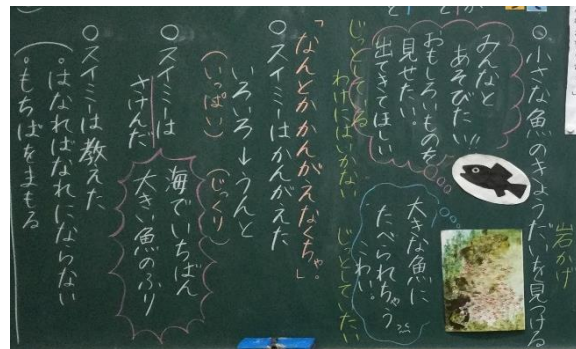


- からす貝よりもまっくろ。
- だれよりもおよぐのがはやい。
- 広い海のどこかで、小さな赤い魚のきょうだいたちとくらしている。
- やさしい。かしこい。ゆう気がある。

第1場面を中心に、スイミーの人物像を考えた。物語全体から見つけたスイミーの会話や行動をもとに性格や様子を捉えた意見が出された。



★「スイミーはどうした？」「何があった？」行動と出来事をあらすじにまとめよう！



第2場面以降は、スイミーの行動と出来事を色分けしながら物語の内容を読み取り、「スイミーはどうしたのか」「何があったのか」を整理していく。全体交流後は、あらすじに必要なと思う言葉を選んで組み合わせたり、別の言葉や接続語を補ったりしながら、各場面のあらすじを1文でまとめていった。書き上がったあらすじを全体で共有することで、人によって言葉の選び方や捉え方が違うことに気付

き、自分の考えを見直したり読みを広げたりするきっかけにもなった。

学習の終末には、「【初め】人物紹介、【中】あらすじ、【終わり】物語の感想」という組み立てをもとに、これまで毎時間書きためてきたあらすじ



を清書し、『お話ししょうかいブック』を完成させた。感想には、スイミーの優しさやリーダーシップに感心したり、仲間と協力するよさや個性を生かす大切さ、たとえを用いた表現豊かな美しい描写に魅力を感じたりするなど、さまざまなものがあつた。また、完成したブックを読み合い、



お互いのあらすじや感想のまとめ方の良さや感じ方の違いを実感していた。さらに、「スイミー」以外のレオ=レオニ作品も読み進めた。一人一人に「どんな話だった？」と尋ねると、「〇〇な話。」と嬉しそうに答える様子も見られた。今後の読書紹介に生かされることを期待したい。（橋詰 加奈）



